

令和7年度「民学産公」協働研究事業

魅力あふれる活力・にぎわいのまちの実現に
寄与しうるサステイナブルな新しいイベントの研究

成果報告書

打矢 聡（参加と協働推進枠）

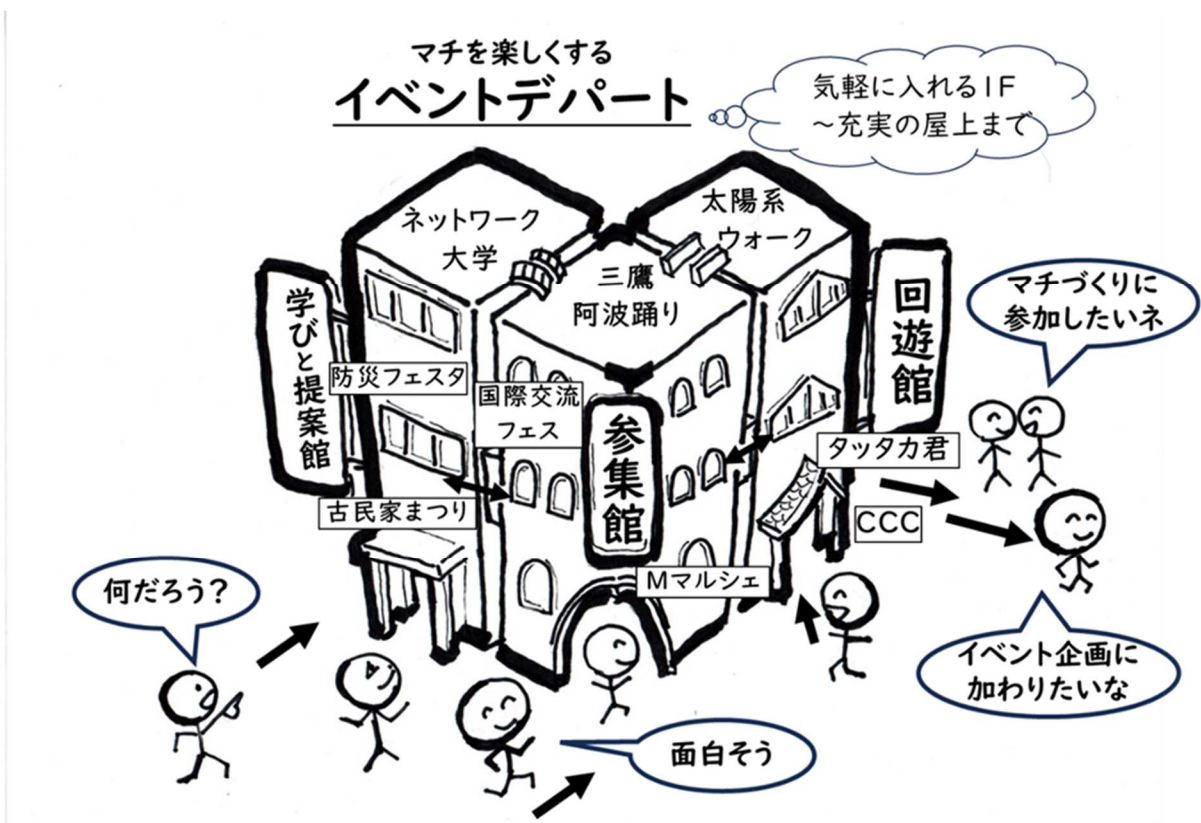
2026年2月20日

目次

1. 「民学産公」協働研究事業の概要・目的	3
2. 申請、参加団体のプロフィール	3
3. 協働研究事業の期間	4
4. 協働研究事業の背景	4
5. 協働研究事業の詳細	4
1) イベント提案プレゼン大会	4
2) イベント実証実験	8
6. 考察	28
7. 今後の予定	30
8. 謝辞	30
9. 補足資料	30

1. 「民学産公」協働研究事業の概要・目的

本研究は、昨年度実施した協働研究事業「魅力あふれる活力・にぎわいのまちの実現に寄与しうるサステナブルな新しいイベントの研究」の継続研究である。研究の目的としては、第5次三鷹市基本計画「魅力あふれる活力・にぎわいのまち」の実現に寄与しうる持続可能な新しいイベントを考察するものである。三鷹の特色・魅力を活かし、市内の事業者、市民、来訪者の共通の関心事となり、異なる価値観の人たちが興味をもてる「新たなイベント」を考案し、それを開催することにより、ワクワク感満載の非日常体験を参加者に満喫してもらうことにより、「みたか愛」が高まり、三鷹のお店での飲食・購買が増えると共に、三鷹への訪問者や転入者の増加や、市民のまちづくりへの担い手が増えることにつながることを目的とする。



イベント参加により、まちづくりへの担い手が増えるイメージ図

2. 申請、参加団体のプロフィール

申請は打矢 聡（参加と協働推進枠）、参加団体は「三鷹の魅力を知る日実行員会」であり、三鷹市が募集した市民参加でまちづくり協議会、通称「マチコエ」が終了後、観光・インバウンドグループを中心に他のグループ員も参加し、結成したグループである。まちづくりに関して市民ができることを実践する活動を行っており、一昨年度は「三鷹市市民参加でまちづくり補助金」を活用し、三鷹の魅力発信サロン、トークライブを実施した。

【メンバー員】

リーダー：打矢 聡

実行メンバー：石河 穂紀、井上 千佳子、今井 康博、小笠原 由香里、笠井 敦子、
庄 あけみ、田邊 健史、富木 由美、並木 敏夫、原 英之、箕輪 清、
吉村 まゆみ

3. 協働研究事業の期間

2025年6月15日～2026年2月13日

4. 協働研究事業の背景

三鷹は近隣に吉祥寺や立川といった大型商業地域があるため、市外から三鷹に来る理由が少なく、また、観光面では三鷹の森ジブリ美術館は有名だが、それ以外については第5次三鷹市基本計画で掲示されているように、三鷹市の魅力のPRが不十分の状況であり、「惜しい三鷹」の状況と言える。

一方、社会情勢や価値観は変わっているが、三鷹市内の主なイベントは「第56回」「第32回」など、大半がほぼフォーマット化されている。そこで、三鷹の魅力を活かし、市内の事業者、市民、来訪者の共通の関心事となり、異なる価値観の人たちが興味をもてる「新たなイベント」を三鷹に作るにより、まちのにぎわいを増やし、三鷹への訪問者や市民のまちづくりへの協働者を増やすことを行いたい。

5. 協働研究事業の詳細

前年度は①まちづくりの有識者からの学び直し、②先行事例調査、③イベントに関するアンケート実施、④イベントに関するワークショップの開催、からイベントについての調査、考察を行い、イベントコンセプト及び新しいイベント提案を行った。しかしながら、新しいイベント提案については検討が十分で無かったため、本年度はまず、イベントコンセプトに基づいて、新しいイベントについてのイベント提案プレゼン大会を行った。このプレゼン大会で点数付けを行い、上位得点の提案から実証実験のアイデアを絞り込み、2つのイベントを企画、開催し、想定していた仮説を検証した。これらの実証実験から得られた結果から、最終的な結論付けを行った。

1) イベント提案プレゼン大会

【日時】2025年7月5日

【場所】三鷹市民協働センター ミーティングルーム

【オブザーバー】宇山 陽子様

【参加者】石河、打矢、庄、富木、並木、原、提案のみが箕輪、吉村

プレゼン大会のルールを以下のように設定した。

●テーマ「私の考えた新イベント」

三鷹で実施する意義・オリジナリティ・コンセプトへの合致度・魅力などを伝えてください。

●タイムスケジュール（1人あたり10分）

・プレゼンテーション：3分以内

・質疑応答：5分

・審査時間：1分

・発表者の入れ替え：1分

※タイマーにて時間管理を行います。プレゼン時間終了時にベルでお知らせします。

●発表者について

・発表順は事前に指定された順番に従ってください。

・スライドは事前に運営へ提出、当日投影されます。

・各規定時間の厳守にご協力ください。

・観覧者からの質問には誠実に、簡潔にお答えください。

●評価方法

観覧ゲストおよびプレゼンター全員が各発表者を評価します。

評価項目（各5点満点）：

i) 続くのは、メリットと愛着。それを支えるしくみとヒト。

ii) 来たくなる、と、来てもらう、の相互作用が必要。

iii) 三鷹の印象をナビゲートしていく新しい言葉、デザインが必要。

iv) 参加を契機に共感し、担い手となる仲間（マチ友）を作る。

v) ワクワク度。

●注意事項

・プレゼン時のパフォーマンスよりもイベントの内容で評価してください。

・他の発表者の発表中は私語を慎んでください。

・他人を傷つける内容や差別的表現は禁止です。

●結果について

・審査終了後、集計して結果を発表します。

・実現可能性を含め、後日再評価を実施します。

以下に実施状況写真を示す。



イベント提案プレゼン大会の様子写真

全部で13の提案があり、それぞれ審査した結果を以下に示す。

順位	イベントタイトル	①しくみとヒト	②相互作用	③新しい言葉、デザイン	④まち友作り	⑤ワクワク感	総合点
1	みたしるウォークラリー	4.2	4.2	3.8	3.8	4.6	20.6
2	太陽系ウォーク飛行	3.2	3.8	4.4	3.6	4.4	19.4
3	ちょいスイーツ みたか	4.0	4.2	3.4	3.2	4.4	19.2
3	みたしる印 まち巡りツアー	3.8	3.8	3.4	4.4	3.8	19.2
5	星のアニソン ☆シスタアライト	2.6	3.8	4.0	4.2	4.2	18.8
6	三鷹野菜を使った創作料理品評会	3.4	3.8	3.4	3.6	4.0	18.2
7	星の詩コン・アニメ小説賞	3.3	4.0	4.0	2.8	3.7	17.8
8	三鷹桜巡りスタンプラリー	3.6	3.8	3.2	3.0	3.8	17.4
8	みたかクイズつくっちゃおう	3.2	2.8	4.4	3.6	3.4	17.4
10	三鷹野菜を使った出汁ing オールスパイス	3.0	3.4	3.8	2.8	4.2	17.2
11	ファッション	3.4	2.8	3.6	3.4	3.8	17.0
12	三鷹をつむぐ	3.0	2.4	3.6	4.0	3.0	16.0
13	みたかの茶の間	3.2	3.3	2.8	2.8	3.7	15.8

総合得点が3位までに入った4つのイベントの詳細を以下に示す。

1位 みたしるウォークラリー

提案イベント名		みたしるウォークラリー
イベント概要		コース途中の茶店(エイド)を移動しながら、ゴールを目指す
三鷹との親和性		名物もそうでないモノも、とにかく三鷹を体験する1日
イベントによるメリット	参加者側	アレコレをちょっとずつ食べながら地元の人と交流できる
	主催者側	農産品、料理、お店、自団体などをアピールできる
イベントコンセプトのどれに該当するか		①、②、④
新しさ		マラソンのエイド部分がメイン。ランナー以外も参加OK
持続可能性		人に知ってもらいたいモノやコトがある限り
わくわく感、非日常		普段はただの通り道におもしろスポットが出現
実現可能性、リソース、モノなど		エントリーフィー、コース封鎖、エイド出店者
その他		

2位 太陽系ウォーク飛行

提案イベント名		太陽系ウォーク飛行
イベント概要		140億分の1の太陽系で自作の紙飛行機を飛ばす
三鷹との親和性		国立天文台内の太陽系ウォークとみたか太陽系ウォーク
イベントによるメリット	参加者側	自分で折った紙飛行機を太陽の位置から飛ばす体験
	主催者側	天文台のあるまち三鷹を身近に感じる新たなきっかけ作り
イベントコンセプトのどれに該当するか		①、②、③、④
新しさ		太陽系ウォークの新たな楽しみ方
持続可能性		車が侵入しない直線100M(土星まで)の場所があれば
わくわく感、非日常		大人も童心に帰る、子供はもちろん誰でも気軽に参加
実現可能性、リソース、モノなど		場所の選定、太陽からの距離を測る、惑星の絵、紙、折り方指南
その他		カフェ「みたしる」を併設

3位 ちょいスイーツ

提案イベント名		ちょいスイーツ みたか
イベント概要		ちょい飲みスイーツ版
三鷹との親和性		三鷹市内の喫茶店やスイーツ(和菓子、菓子パン含む)を巡る
イベントによるメリット	参加者側	三鷹の知らなかったお店や商品を知ることができる
	主催者側	お店を知ってもらうきっかけ作り
イベントコンセプトのどれに該当するか		①、②、③、④
新しさ		今までにない
持続可能性		季節や地区を変えることで毎回新しさに出会える
わくわく感、非日常		スイーツを味覚、視覚、言葉で味わう。
実現可能性、リソース、モノなど		スイーツ店の選出、お店への協力依頼、景品提供依頼
その他		スイーツにまつわるストーリー、カフェ「みたしる」同時開催

3位 まち巡りツアー

提案イベント名		みたしる印 まち巡りツアー
イベント概要		2～3時間で市内・隣接地域を巡るツアー/プチ遠足を定期的 に開催する。ツアーの仕上げは1時間程度のコーヒータ イム(下連雀テラスで行えると嬉しい)とし、おしゃべりや告知など 交流の場を提供、また、ツアーアイデアを募る。みたしるは 主催するが企画は参加者にしてもらうというイメージです。
三鷹との親和性		三鷹の「知らなかった」のPR
イベントによるメリット	参加者側	地域の未知に触れることができる。地域交流のきっかけ
	主催者側	告知にSNSは必要だが、他に用意するものがほとんどない
イベントコンセプトのどれに該当するか		①、②、③、④
新しさ		ありそで無い
持続可能性		企画持ち回りで持続可能につながる
わくわく感、非日常		日常では素通りする場所に秘密があるかも
実現可能性、リソース、モノなど		発信のためのイメージ作りが肝要
その他		

以上4つの上位得点イベントを中心にイベント実証実験内容の検討を行った。

実証実験の方針として、2つのイベント実証実験を実施することにした。1つは主催、もう1つは他イベントとの共催とした。

主催イベントとしてはウォークラリー、街巡りツアーとちょいスイーツを合わせ、おうちカフェ（ご自宅で営業しているカフェ）でスイーツを受け取りながら、名所も巡る、ガイド付き街歩きを提案した。

一方、共催イベントはNPO法人みたか市民協働ネットワーク主催の「第23回みたかまち活フォーラム」の作戦会議で結成された「はじめの一步チーム（打矢が常時参加、他、当会メンバーが入れ替わりで参加）」において、三鷹を舞台にした短編映画上映＋監督トークセッションを行うことが決まったため、その後、監督同行のロケ地巡りツアーをまち活フォーラム主催側に提案し、了承された。

イベントを実施するに当たり、イベントコンセプトからの落とし込みと期待する成果を以下のようにまとめ、イベントの実行詳細計画に反映させた。

イベント名	映画の余韻を楽しむ！ ロケ地巡りツアー		めぐって ミタカのミリョク ～こんなところにおうちカフェ～	
	落とし込み	期待する成果	落とし込み	期待する成果
①続くのは、メリットと愛着。それを支えるしくみとヒト	地元出身映画監督同行によるロケ店舗での撮影秘話解説	・上映会&ロケ地巡りの継続実施 ・ロケ店舗の集客向上	・参加店は自店アピールの機会 ・参加者に三鷹の魅力を紹介	・参加店を増やしての継続実施 ・参加店の集客向上
②来たくなる、と、来てもらう、の相互作用が必要	映画鑑賞、及びトークセッション直後の開催設定	参加者が映画鑑賞とロケ地巡りの相乗効果で魅力を実感	オリジナルスイーツの提供	参加者がお店の味、雰囲気を知ってリピーターとなる
③三鷹の印象をナビゲートしていく新しい言葉、デザインが必要	「映画の余韻を楽しむ！」 「ロケ地巡り」	参加者が地域への愛着を深める	「ミタカのミリョク」 「おうちカフェ」	・参加店の協力継続化 ・参加者が地域への愛着を深める
④参加を契機に共感し、担い手となる仲間（マチ友）を作る	歩きながら運営側との会話を通して活動に共感を得る	参加者が今後の当G活動への参加や協力	歩きながら運営側との会話を通して活動に共感を得る	参加者が今後の当G活動への参加や協力

2) イベント実証実験

i) 映画の余韻を楽しむ！ ロケ地巡りツアー

【実施日】2025年11月30日（日）

【内容】NPO法人みたか市民協働ネットワーク主催の「第23回みたかまち活フォーラム」において、三鷹を舞台にした短編映画「太宰橋」（今尾監督作品）と「お付き合い契約書」（片岸監督作品）上演及び、両監督のトークセッション（ここまでは三鷹市市民協働センターの企画）、その後、監督同行で「お付き合い契約書」のロケ地を巡るツアー（当会が企画）を実施。

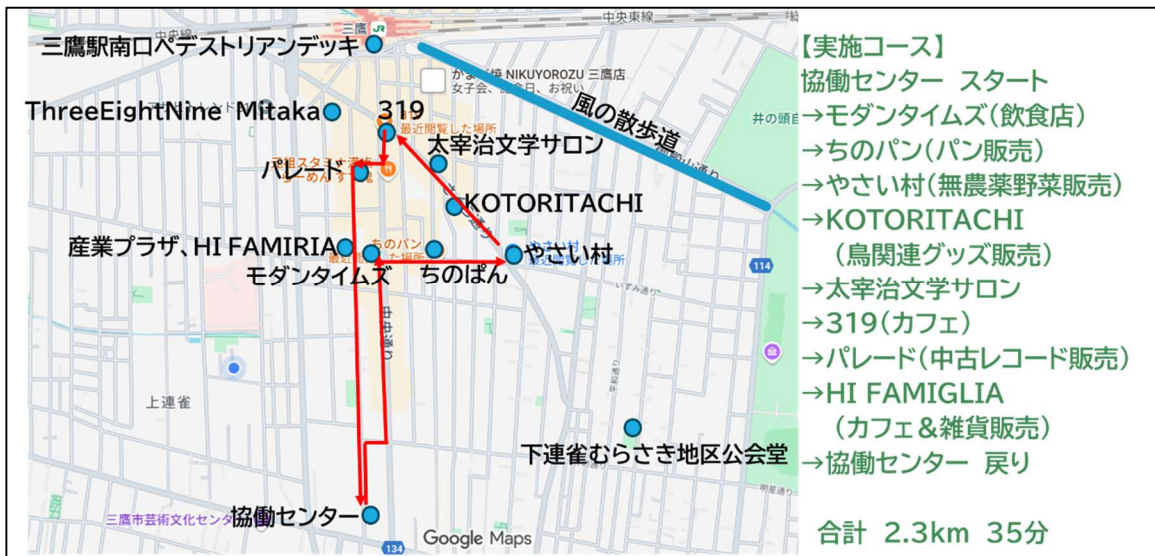
【参加者】募集10名に対し、参加者6名、映画ロケ地店主1名、山田プロデューサー、片岸監督、今尾監督、当会スタッフ7名、合計17名

募集人数を10名としたため、当会としては積極的に宣伝を行わず、「第23回みたかまち活フォーラム」全体の宣伝に委ねた。参考として、まち活フォーラムのチラシの表紙と、当日イベントの紹介箇所を抜粋して掲載する。



「第23回みたかまち活フォーラム」チラシ表紙と3頁のロケ地巡りツアー紹介の箇所

また、当日のロケ地巡りのコースを以下に示す。



次にロケ地巡り実施時の状況写真を以下に示す。



飲食店「モダンタイムズ」



食品販売「やさい村」



雑貨販売「KOTORITACHI」



カフェ「319」



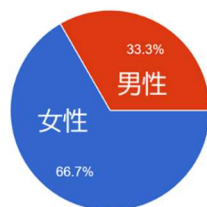
中古音楽ソフト販売「パレード」



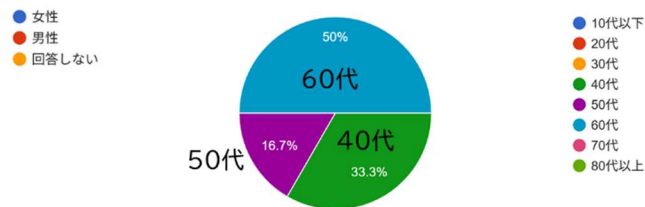
カフェ&雑貨販売「HI FAMIGLIA」

次にロケ地巡り後に行った参加者へのアンケート結果を示す。尚、アンケートは参加者 6 名の内 5 名、更に映画ロケ地店主を含めた 6 名から回答を得た。

1. 性別
6 件の回答

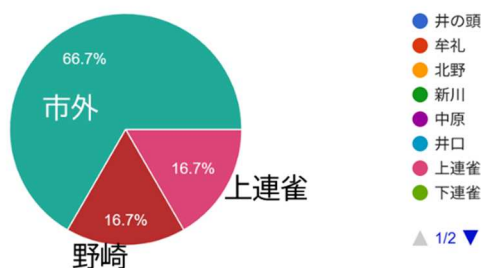


2. 年齢層
6 件の回答



性別は女性が 2/3、男性が 1/3 であった。また、年齢層は 60 代が半数、40 代が 1/3、50 代が 1/6 であった。

3. 地域
6 件の回答



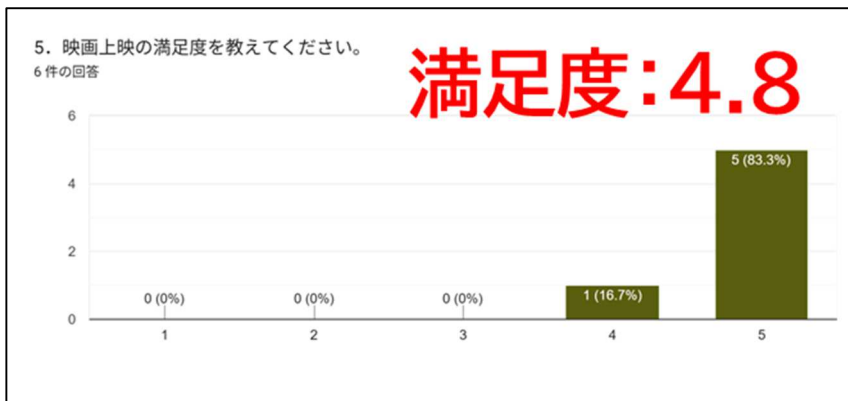
参加者のお住まいは市外が 2/3 で、上連雀と野崎が一人ずつであった。市外の方が多かった理由として、共催イベントの関係者からの紹介での参加が挙げられる。人的なつながりや、知見を広げる意味で、良いヒントになった。

4. このイベントをどうやって知ったか教えてください。
6 件の回答

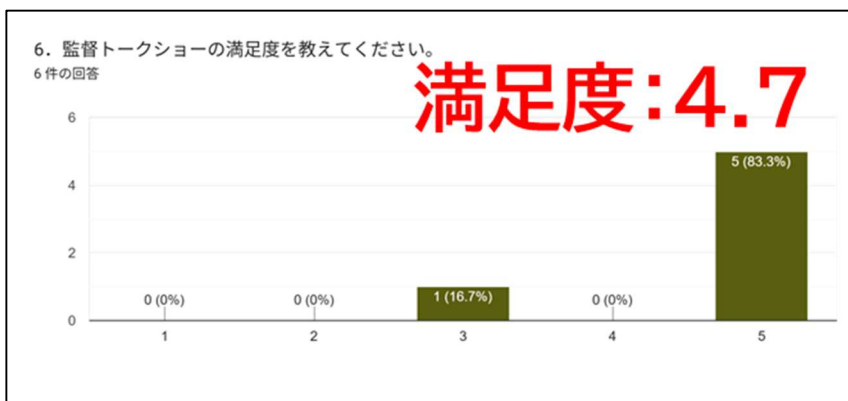


友人、知人、家族からが半数を占め、チラシ・ポスター等、店舗撮影利用の御連絡から、まち活塾からの案内が 1 名ずつであった。

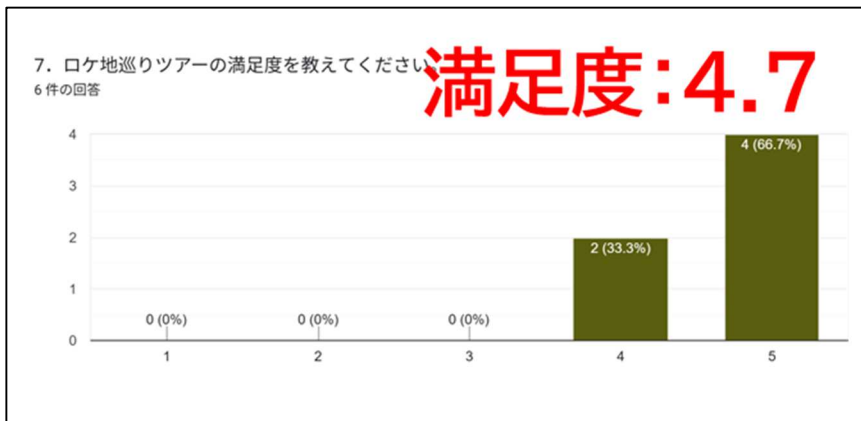
5. 映画上映の満足度



6. 監督トークセッションの満足度



7. ロケ地巡りツアーの満足度



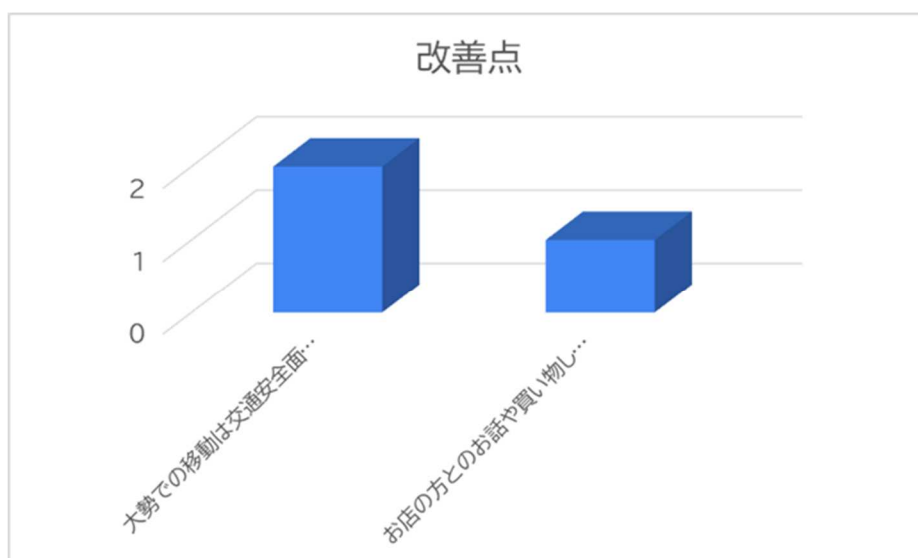
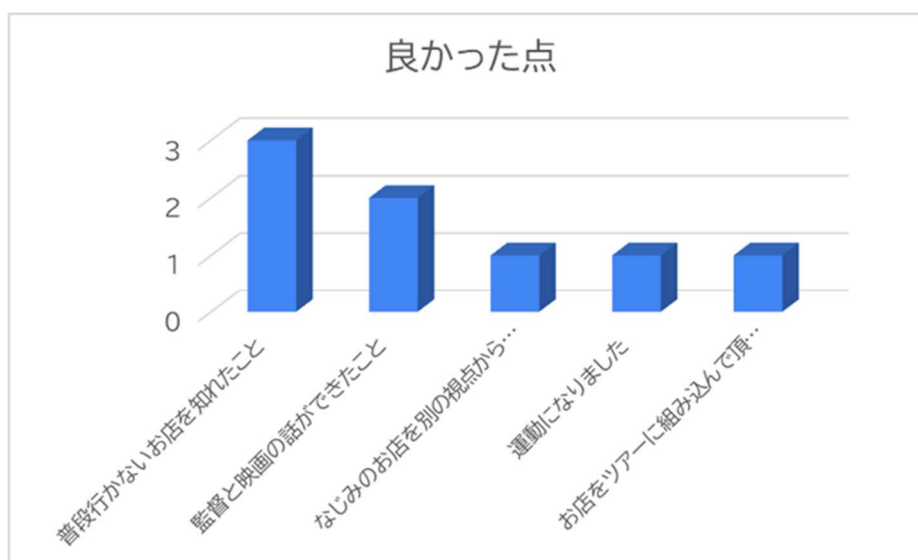
参加者の満足度は5段階（5点満点）で映画上映が4.8、監督トークセッションが4.7、ロケ地巡りツアーが4.7という結果であった。映画を鑑賞し、監督のお話を聞き、実際にロケ地を巡る一連のイベントはどれも参加者にとって満足度の高い内容であったと言える。

8.ロケ地巡りツアーの良かった点

- ・お店をツアーに組み込んで頂き感謝です
- ・馴染みのお店を別の視点から見られたこと
- ・順路も良く、知らなかったお店や気になっていたお店を知ることが出来ました。
監督と歩きながら映画の気になったところを聞くことが出来参加して良かったです。
- ・普段行かないお店を知れたこと。監督のロケ地にまつわる話を直接聞いたことが興味深かったです。
- ・運動になりました。
- ・普段行かないエリアやお店を案内していただいたことで、街の知らなかったことを知れたことが、とても新鮮でした。改めて、いい街に住んでいるんだなと実感しました。

9.ロケ地巡りツアーの改善点

- ・大人数の移動は交通安全面や説明を聞く点で周囲に気を遣うので厳しいと思いました。
- ・やはり大勢で道を歩くのは危険もありますね。
- ・買い物したり、お店の方とお話したりしてみたかったです。

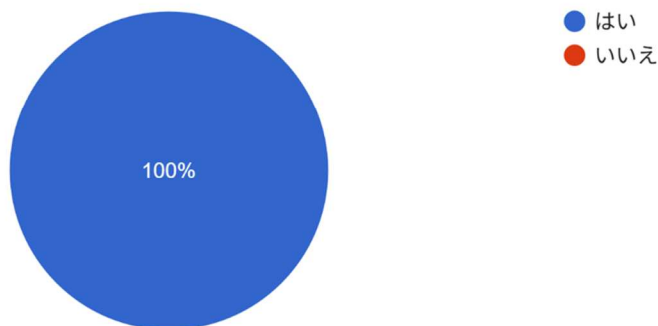


良かった点は普段行かないお店を知れたこと、監督と映画の話ができたこと、なじみのお店を別の視点から見られたことなど。

一方、改善点は大勢での移動が交通安全面で危険だったことや、お店の方とのお話や買い物をしてみたかったことが挙げられた。

10. 今後このようなイベントがあった際に運営側として参加してみたいと思いますか？

6件の回答



6名全員が運営側として参加してみたいと回答。その後の当会への打ち合わせにお誘いしたところ、3名の方が参加した。

元々参加者が少なかったが、アンケートの母数が6名と少ないことから、スタッフ参加者2名からの振り返りも行った。

イベントコンセプト	実施結果、感想、良かった点、改善点など
①続くのは、メリットと愛着。それを支えるしくみとヒト	<p>★★★★☆ (しくみとヒトの部分、場の構築に関して)適度な声かけと、適度な放置感◎</p> <p>監督が喜んでいたのが、何よりでした。 (最初しばらく、監督おふたりが真ん中より後ろで、話しながら歩いていてのが、よかったです。そういうちょっとした時間があると、後で全体の雰囲気づくりに効きます。個人の感想ですが) あとは、誰もぼつんとしない、所在がない、ということがないように心がけましたが、どうでしたでしょうか。 そのように心がけるスタッフがひとりでもふたりでもいるか、関係者つながり以外の方が一定割合以上いるか。 内輪感が高すぎると、そうでない側のアウェイ感も出てくるのですが、天気が良く、歩いて、いろいろこんなところにお店があった、ここおいしいよ、的な話ができただけで、打ち解けやすい、感じの良さにつながったとは思いました。昔の話も今の話も両方あるといいですね。 最後のひとりまで気を抜いちゃだめですよ(^;) ※これは自分へのノリツコミです。</p>
②来なくなる、と、来てもらう、の相互作用が必要	<p>★★★★☆</p> <p>お店と、歩いた人たちの感じでは、kotoritachiよかったですね。ちょっと見て、また来ます、くらいがちょうどいい。ちのパン、偶然に監督さんと私のお気に入りのパンが同じで楽しかったですが、具体的に短く人を巻き込みやすいネタは個人的に準備はできていました(近所の知ってるお店でしたので)。 1軒めのモダンタイムスさんが想定外の休みでしたが、ちょっとそれで時間をくっしまい、もう少しパレードさんで中に入れたら、というところでした。 自分ひとりでは入らなかった、気が付かなかった、そういうところに行けると「そのお店やスポットに、また来なくなる」になります。 準備、大切です。お店の選定、よかったです。</p>

イベントコンセプト	実施結果、感想、良かった点、改善点など
③三鷹の印象をナビゲートしていく新しい言葉、デザインが必要	★★☆☆☆ 厳しい評価ですみません。 もっと両監督とクリエイティブな、新しい方向の話ができて、参加者皆さまにちょっと種まきができていたら……とっています。 監督のニューヨーク時代の話を展開して、そうできるとふんでいたのですが、周囲の方と三鷹の昔話になってしまい、そこができませんでした。 参加者の満足度は高かったと思いますが、ニーズではなく、ウォンツにあたるような、場で生み出すような、新たな創造の部分は、もっとできるのに、と思っています。
④参加を契機に共感し、担い手となる仲間(マチ友)を作る	(★★★★★?) 0を1にする段階としては、よかったですと思いますが、課題はここからです。 アンケートの戻りや、フィードバック、次の機会や、その次の機会へのお誘いなど、これから見えてくるところだと思いますので、★の数は保留です。期待を込めて(★★★★★?)としました。
⑤ワクワク感	ありました！(スタッフとしては★★★★★) 参加者として歩いたら、お店は少なく感じました。今回は映画を見て、という企画ですので納得ですが(複数のお店がシャッターだったからかも)。全部イントロ&Interest程度、あとで個人で行ってみたい、というので十分かもです。 地元だからか、監督さんがたもリラックスされ、よい感じの距離感と存在感で、場のわくわくの熱量、温度の調節がうまくいっていたと思います。 もし、時間が長いと、この温度感が醒めてしまう人も出てきそうです。1時間半くらいが適切かと考えますが、コースにもよりますので、飽きがない、醒めないよう、相互に言葉を交わしたり、心地よい沈黙もあつたり、のんびり感(7くらい)と、誰かの話をみんなで聞くことになる説明感(2くらい)、のメリハリの波は必要かと。残り1は、なりゆきやハプニング、調整枠の意味もある、アドリブ枠や何らかのライブ感で。

イベントコンセプト	実施結果、感想、良かった点、改善点など
①続くのは、メリットと愛着。それを支えるしくみとヒト	訪問先の大半が休業だった点は残念だった。 KOTORITACHIなど店主が応対してくれたお店は、その後(1か月後とか)何か変化があったかを取材してもよいかも。
②来たくないと、来てもらう、の相互作用が必要	市外(武蔵野市)からの参加者もいて、クチコミの力(三鷹の農家シタケオさんから聞いたそう)を感じた。ただ、「来てもらう」の実現には、規模の大小は問わず、それなりの頻度で開催する必要も感じる。「旅部」のような参加ハードルが低いイベントは非常に有効そう。
③三鷹の印象をナビゲートしていく新しい言葉、デザインが必要	フィルムに撮影当時の町の姿が残っていることの価値を感じた。なんでもない街並み、風景に意味づけをしていくことは面白かった。観光資源や聖地は新しく作れると気づいた。
④参加を契機に共感し、担い手となる仲間(マチ友)を作る	とにかく接触頻度を高める必要がありそう。1時間程度一緒にいたくらいでマチ友化を期待する=我々から距離を詰められるのは、参加者にとっては重過ぎるし、きつと引く。今回、12月に次のイベントがあるのは接触頻度を上げるためにとても良い。まずはインスタを紹介するなど徐々に距離を詰めたほうがよいかも。ド定番だがAIDMAのプロセスをマチ友化に落とし込んでみてはどうか。 https://smmlab.jp/article/what-is-aidma/
⑤ワクワク感	全体的に忙しすぎてワクワクしているヒマがなかったかも(私が写真撮影係をしていたからか?)ただ、319の前の廊下は確実にワクワクした。訪問地を減らし、もっとゆっくり回った方が味わい深い体験になる気がした。

「監督さん方もリラックスされ、良い感じの距離感と存在感で、場のワクワクの熱量、温度の調節がうまくいっていたと思います。」や「フィルムに撮影当時の街の姿が残っていることに価値を感じた。なんでもない街並み、風景に意味づけをしていくことは面白かった。観光資源や聖地は新しく作れると気づいた」など、非常に良い雰囲気街巡りができ、かつ街が映画により観光資源として価値のあるものになることを示唆している。

更に、事業者側の感想、ご意見として、映画「お付き合い契約書」の片岸佑太監督からコメントを頂いたので、内容を以下にまとめた。

項目	内容
感想	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通してとても和やかな雰囲気の中で進行できたと感じている。 ・参加者の方々とコミュニケーションをとりながら、映画の内容や制作過程の裏側を共有しつつ、ロケ地としてご協力いただいた店舗さんをご紹介できたことを、非常にうれしく思った。 ・お世辞抜きに、三鷹の歴史や街の背景に詳しい山田さん、並木さんのような「三鷹好き」の方々が一緒に歩いてくださったことで、ツアー中の会話がいつそう豊かになり、参加者の皆さんも楽しんでおられた印象であった。 ・誘導や時間配分を丁寧にサポートしてくださった、荘さん(当会スタッフ)のおかげで、全体の進行もとてもスムーズだった。 ・今後小さな上映会を行なっていながら新しい企画イベントに繋がりたいと考えている。
このイベントが貢献したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・映画の世界観と、実際の三鷹の風景を直接結びつけられたこと。 ・ロケ地となった店舗さんのPRができたこと。 ・監督と観客との距離が近づき、映画について双方向のコミュニケーションが生まれたこと。 ・とりわけ、ツアーを通じて、作品をご覧くださいとお客さまと直接言葉を交わせたことで、自身の学びと気づきが多く、非常に有意義な時間となった。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜日の開催ということもあり、お休みの店舗さんが多かったことは少し残念であった。 ・営業日に実施できれば、実際に食べ歩きをしながら、それぞれのお店の魅力をより深く知っていただけるのではないかと感じた。

片岸監督から、観客との距離が近づき、映画について双方向のコミュニケーションが生まれたことや、観客との会話から自身の学びと気づきが多くあり、非常に有意義な時間となったことなど、このイベントが事業者にとっても大きな貢献があったことが伺える。

ii) めぐってミタカのミリョク ～こんなところにおうちカフェ?!～

【実施日】2025年12月20日(土)9:30～12:30

【集合場所】みたかスペースあい

【内容】最初に下連雀の歴史解説を行い、その後、3グループに分かれ、ガイドが引率し、下記3店舗で特製スイーツを受け取りながら、三鷹の名所(玉鹿石、中央通りのモニュメント等)では、ガイドの語りにより、地域の魅力に触れる。集合場所へ戻った後はグループでの語らいの時間も設定。

【参加者数】募集25名で最終参加者22名

【募集】SNSで複数のFacebookグループや旧マチコエLINEメンバー等への案内を行うと共に、次項のチラシを作成し、三鷹駅、三鷹市内のコミュニティセンター、図書館などに置かせて頂くと共に、まち活フォーラム参加者への配布、及び、当会メンバーそれぞれが関係する団体等に500枚配布した。



「めぐってミタカのミリョク ~こんなところにおうちカフェ?!~」のチラシ

まち巡りについてはグループ毎にコースを変えたが、以下にAグループのコースを示す。



今回、スイーツ提供して頂いたおうちカフェは下連雀テラス、Salon de PAZ、Cafe 吉祥寺通りである。それぞれのお店とご提供頂いたスイーツを以下に紹介する。

●下連雀テラス



下連雀テラスの外観、室内、スイーツの写真

●Salon de PAZ





Salon de PAZ の外観、室内、スイーツの写真

●Cafe 吉祥寺通り



Cafe 吉祥寺通りの外観、室内、スイーツの写真

三鷹の名所については、以下のような説明ガイド資料を作成し、説明を行った。但し、太宰治文学サロンについては事前に団体見学の申請を行い、職員もしくはガイドボランティアの方から短時間のご説明を行って頂いた。

場所	説明文
 	<p>街灯をリニューアルする際、商店会長とデザイナーの議論から生まれたのがこのかたちです。写真に撮った街灯に文字を加工で入れて、自由に中央通りを表現して欲しいというアイデアです。しかし、なかなか理解されず「あれ何？左右対称じゃないよ、間違えたんじゃないの？」と言われたりもしましたが、最近やっと「いいね」と思ってくれる人が広がりました。</p>
補足	

当日のイベント状況写真を以下に示す。





Cafe 吉祥寺通り



三鷹駅近くの玉川上水



北村西望アトリエ



赤とんぼ像、かぎかつこの街灯



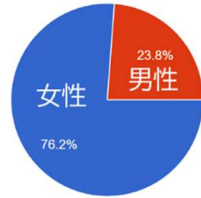
まち巡り後の語らい



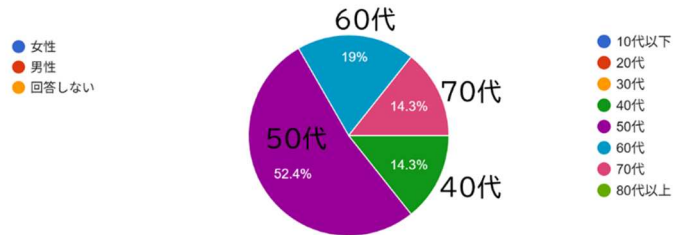
参加者、運営者集合写真

次に参加者のアンケート結果を示す。22名の参加者中21名からアンケートの回答を得た。

1. 性別
21件の回答

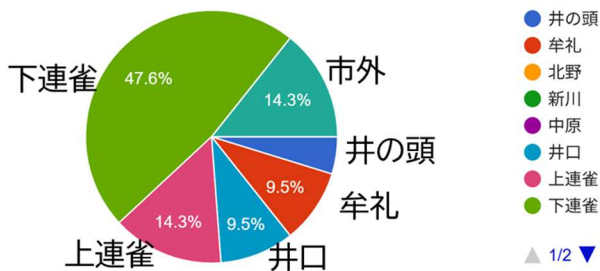


2. 年齢層
21件の回答



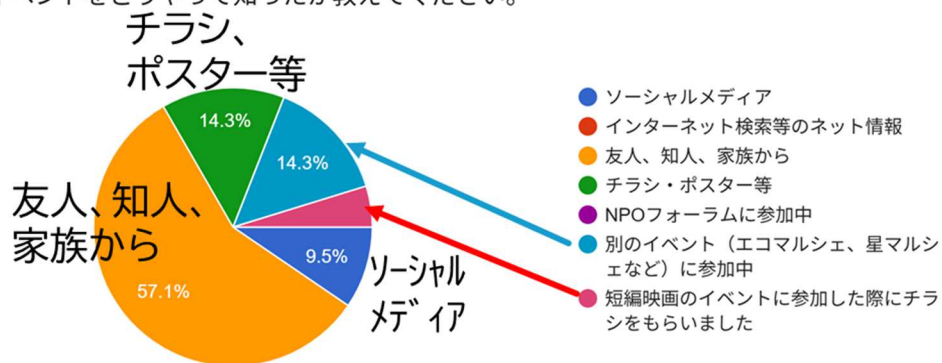
参加者は女性が3/4と、テーマがスイーツであることから、想定した通り女性が多かった。年齢層は50代が半数で、次に60代が2割、40代と70代が14%ずつであった。

3. 地域
21件の回答



地域としては下連雀からが約半数で、上連雀と市外が14%ずつ、井口と牟礼が10%ずつ、井の頭が5%の参加であった。

4. このイベントをどうやって知ったか教えてください。
21件の回答

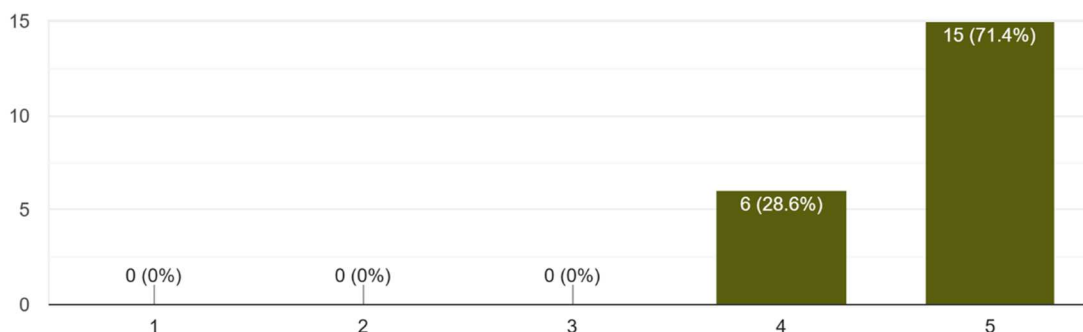


どうやってイベントを知ったかについては「友人、知人、家族から」が半数以上、「チラシ、ポスター等」と「別のイベントに参加して知った」が14%ずつで、「ソーシャルメディア」が10%弱、「映画イベントでチラシをもらった」が5%という結果であった。

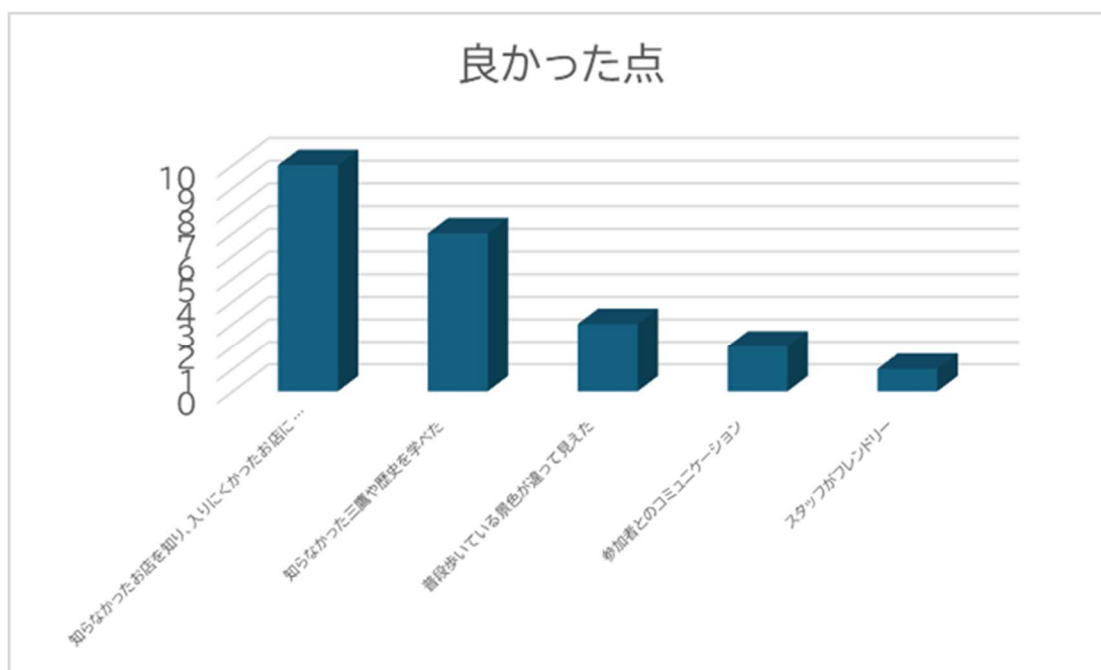
5. このイベントの満足度を教えてください。

21件の回答

満足度:4.7



イベントの満足度は5点満点中4.7と高い結果であった。



6. このイベントの良かった点を教えてください。

普段自転車で一瞬で通り過ぎるところをゆっくり歩いてみれたこと

解説の内容・上手さ、素敵なカフェの紹介

知らなかったお店を知ることができました。

長年住んでいる三鷹の歴史について、まだまだ知らないことがあると気づかせてくれたこと、素敵なカフェを教えてくださいましたことが良かったです。

知らないお店を知れた事

歩いていても、営業時間の関係で知る事が無かったお店を知った。

短時間でぎゅっと歴史もわかり、スイーツもいただき楽しかったです。

三鷹の歴史について学べたこと。

普段行ったことのない場所をお話しを聞きながら案内していただいたことで、いつもの街がとても新鮮に感じました。とても楽しい企画で、あつという間の時間でした。

程よいグループで案内して頂き、情報も盛り沢山大満足です

和気あいあい

普段歩いている景色が違って見えたし、素敵なカフェを知ることができたり、知らなかった町の歴史を知ることができて、とても楽しかったです！

見つけづらいカフェを教えてくださいました。

歴史をしれたのでよかったです。

三鷹のことをよく知る事ができました

参加者とのコミュニケーションができた

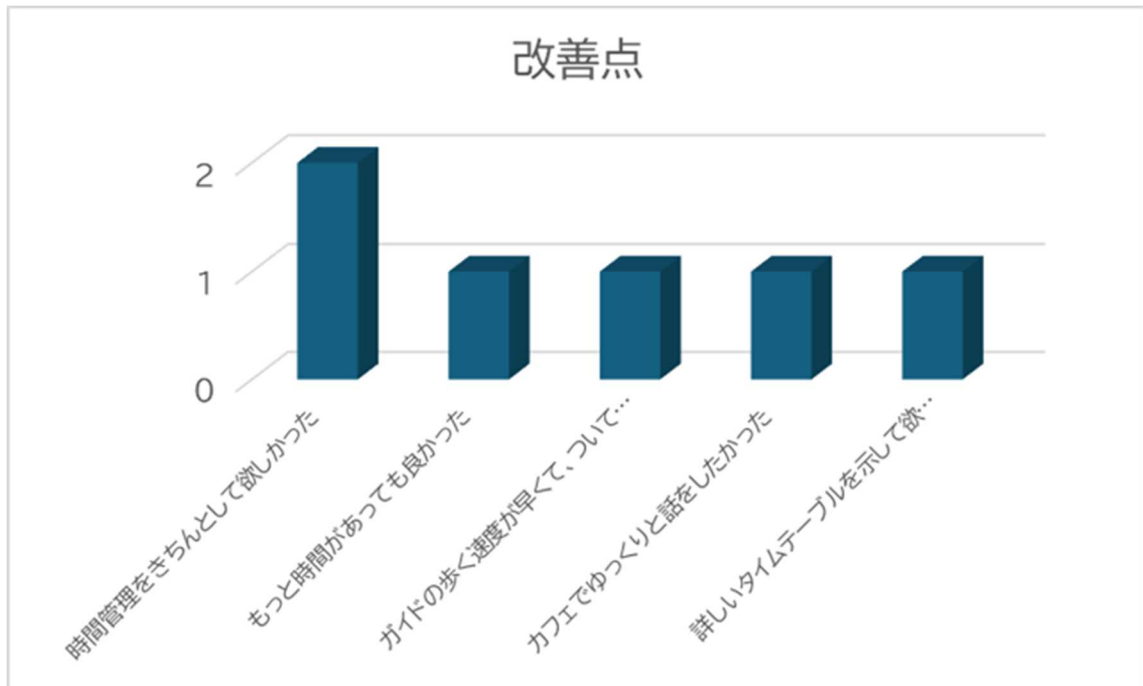
普段、何気なく通っている場所のゆかりや、お店について 知れたのが良かったです。

知らないお店に入れました

スタッフの方々が皆さんフレンドリーで良かったです

見かけていても入りやすかったカフェに入れました。ぜひ来週行こうと思いました！

三鷹の歴史を知ることができた。



7. このイベントの改善点を教えてください。

いい感じでした

特に感じませんでした

特にございません。

何も思いあたることはありません。

特になし

特になし

特になし

時間管理をきちんとしていただきたい。

特にありません。

もっと時間があってもいいかなと思いました

とても楽しい会でした。案内の方良かった。

もっとたくさんの「おうちカフェ」を知れたらうれしいです！次回もとても楽しみにしています！

時間がおしたこと

せっかくだから、カフェでゆっくりしながら、話ができたと思いました。

特にないと思います。

特になし

詳しいタイムテーブルが、あらかじめわかるとありがたかったです。

ガイドさんの歩くスピードが早くて、後半ついて行けなくなりお話も聞けなかったこともありました。

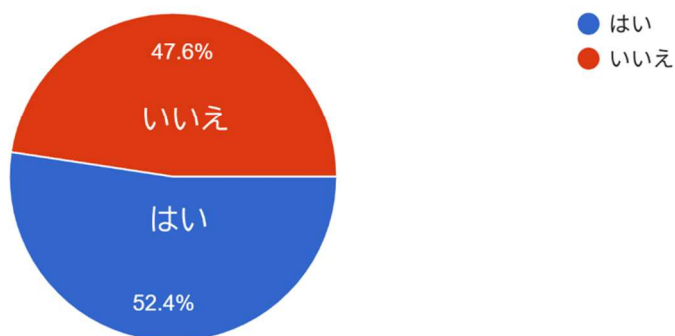
今のままで良いと思います。

特にないです

特になし

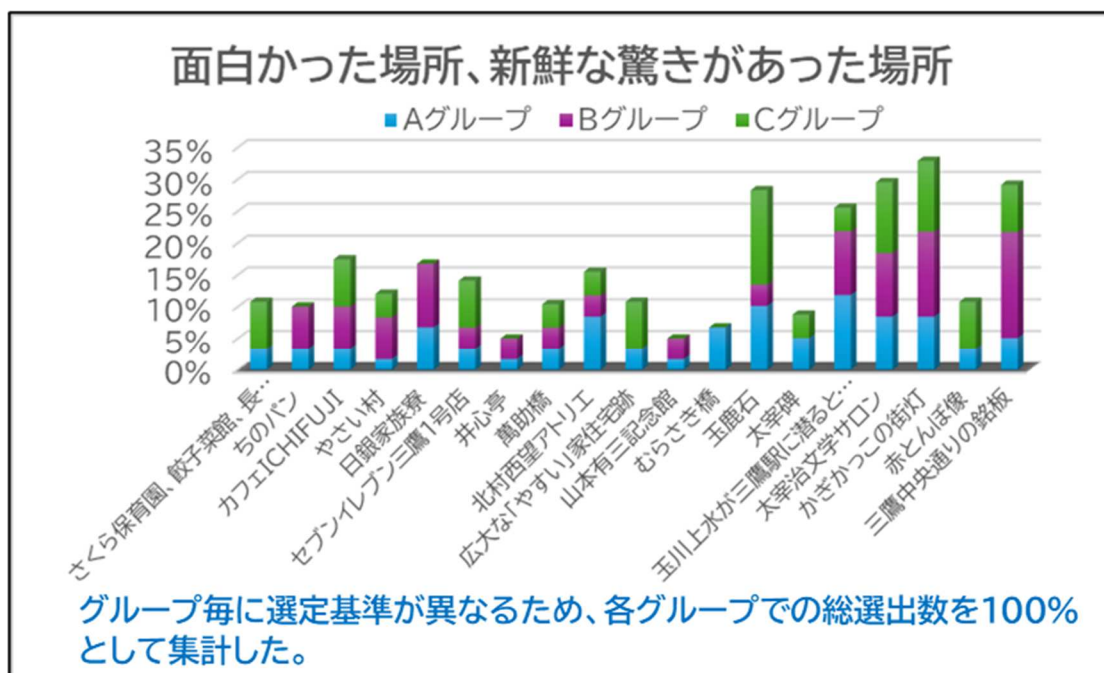
良かった点は知らなかったお店、名所、歴史を知ることができたこと。改善点は時間管理やカフェでゆっくりしたいなどが挙げられた。

9. 今後このようなイベントがあった際に運営側として参加してみたいと思いますか？
21件の回答



運営側として参加してみたいと思う人が11名で、その後当会の打ち合わせや新年会にお誘いした結果、2名の方が参加した。

次に名所について、参加者が面白かった場所、新鮮な驚きがあった場所について示す。



1～5位について、以下に写真や地図を示す。

1位：かぎかつこの街灯



2位：太宰治文学サロン



3位：三鷹中央通りの銘板



4位：玉鹿石（太宰治ゆかりの地）



5位：玉川上水が三鷹駅に潜るところを覗く



順位の高い名所については知らなかったギャップが大きいほど、驚きが大きいことが考えられる。また、名所としては色々なもの（例えば三鷹中央通りの銘板など）が観光資源として使えることが認識できた。

次にイベント実施の翌日に、おうちカフェのオーナー様にお集まり頂き、感想、イベントが貢献したもの、改善点などを伺った。ご回答頂いた内容を以下に示す。

お一人でお店を運営されているため、PRすることまで手が回らなく、このような企画により、認知度が上がることや、どんなスイーツにするかを考えることでご自身のスキルアップになったなど、このイベントは事業者にとって大きく貢献したと考える。

改善点としては継続的に続けるためのコンセプト設定をどうするかを考える必要がある。

おうちカフェ名	率直な感想	このイベントが貢献したもの、するであろうこと	同様なイベントを行うとした場合の改善点
Salon de PAZ	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。 ・事前に参加人数が決まっていたのが良かった。最終の人数の通知が1週間前だったのもちょうどよい。 ・事前に9時半から12時までの時間帯で来店と聞いていたので問題ないが、実際に来店する時間がわからず、1番目のグループと2番目のグループの時間差があまりないこと、3番目がだいぶ遅れてくることがわかっていなかった。 	<p>とっても良い企画。一人でやっており、クッキーの包装を手伝ってくれる方はいるが、お店をまわすことで手一杯のため、企画はできない。今回お声かけいただきPRができた。結果にすぐにつながらなくても、こうした企画に参加できるかできないかは非常に大きい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準備不足があり、1番目のグループが終わった時にお店の紹介カードが足りないことに気が付き、自宅に取りに戻った。その間に2番目のグループがいらして、待たせてしまった。 ・A、Cグループに次回に使えるチケットを渡しそびれた。(Bコースは頂き、他のグループ分も持ち帰った。Aグループにはお渡ししたがCグループにお渡しできなかった。)
下連雀テラス	<ul style="list-style-type: none"> ・思ったよりもうまくいった。ガイド文は考えたがどれだけ面白がってくれるかわからなかった。 ・下連雀歴史説明で「ちよい」の3段活用(下連雀をちよい散歩して、おうちカフェでちよいスイーツを食べ、参加者同士ちよい仲良くなる)が好評だった。 ・アンケート結果で、歴史が知れてよかったとの意見多数あり、ちょっとした歴史をおもしろがってくることがわかった。 ・3番目のグループがなかなか来なかったと感じた。 	<p>認知の拡大。知られるまでに時間がかかることを実感している。</p>	<p>サステナビリティをどうするか。続けられるコンセプトをどうするのが課題。</p>
Cafe 吉祥寺通り	<ul style="list-style-type: none"> ・PRになった。1度に22名に認知してもらった。参加者のお一人が終了後に来店してくれ、また来ますと言ってくれた。 ・楽しかった。 ・時間が良く練られていた。3つのグループがあまり間をあげずに順に来店された。 	<p>クリスマス前なので、クリスマスにちなんだお菓子にしようとか、パッケージも考え自分のスキルアップになった。</p>	<p>事前の告知をどこまでして良いのかわからず、お店にチラシを貼っただけになった。</p>

6. 考察

イベントコンセプトからの落とし込みと期待する成果に対し、実施した結果、感想、良かった点、改善点などを以下にまとめた。

1) 映画の余韻を楽しむ！ ロケ地巡りツアー

イベントコンセプト	落とし込み	期待する成果	実施結果、感想、良かった点、改善点など	判定
①続くのは、メリットと愛着。それを支えるしくみとヒト	地元出身映画監督同行によるロケ店舗での撮影秘話解説	・上映会&ロケ地巡りの継続実施 ・ロケ店舗の集客向上	・映画製作側でクラウドファンディングによる上映会及びロケ地巡りを開催を企画 ・映画で使われたお店に行けた ・監督のロケ地にまつわる話を直接聞けた ・運営者でロケ店舗利用あり。 ・運営者として、参加者を1人にさせない、内輪感を感じさせない気配り ・事前映画試写会と監督との打ち合わせにより、適切なロケ地巡りコースを設定 ・見学予定店舗が閉まっていた。直前の念押しが必要であった	○ ○ ○ ○ ○ ○ ×
②来たくなる、と、来てもらう、の相互作用が必要	映画鑑賞、及びトークセッション直後の開催設定	参加者が映画鑑賞とロケ地巡りの相乗効果で魅力を実感	・映画上映、監督トークセッション、監督同行のロケ地巡りの連続実施 ・順路も良く、知らなかったお店や気になっていたお店を知ることが出来た ・ひとりでは入らなかった、気が付かなかった、ところに行けるとまた来たくなる ・宣伝はまち活フォーラム全体のみ(10名限定のため、他の宣伝は未実施)	○ ○ ○ ○ ○
③三鷹の印象をナビゲートしていく新しい言葉、デザインが必要	「映画の余韻を楽しむ！」 「ロケ地巡り」	参加者が地域への愛着を深める	・普段行かないエリアやお店を案内して頂いたことで、街の知らなかったことを知れたことが、とても新鮮でした。改めて、いい街に住んでいるんだと実感した ・馴染みのお店を別の視点から見ることができた ・フィルムに撮影当時の街の姿が残っていることに価値を感じた ・観光資源や聖地は新しく作れると気づいた	◎ ○ ○ ○
④参加を契機に共感し、担い手となる仲間(マチ友)を作る	歩きながら運営側との会話を通して活動に共感を得る	参加者が今後の当G活動への参加や協力	・1時間のロケ地巡りでマチ友化期待は難しく、接触頻度を高める必要がありそう ・映画参加者に、おうちカフェ巡りのチラシを配布し、次のイベント参加を促した ・当Gの打ち合わせ、懇親会へお誘いし、6名中3名の参加を得た	△ ○ ○ ○
⑤ワクワク感			・319(カフェ)の前の廊下は確実にワクワクした ・監督がたまりラックスされ、良い感じの距離感と存在感で、場のわくわくの熱量、温度の調節がうまくいっていた	○ ○ ○

2) めぐってミタカのミリョク ～こんなところにおうちカフェ?!～

イベントコンセプト	落とし込み	期待する成果	実施結果、感想、良かった点、改善点など	判定
①続くのは、メリットと愛着。それを支えるしくみとヒト	・参加店は自社アピールの機会 ・参加者に三鷹の魅力を紹介	・参加店を増やしての継続実施 ・参加店の集客向上	・知らなかったお店を知り、入れなかったお店に入れた ・参加者が早速、参加店に訪問している ・知らなかった三鷹のことや歴史を学べた ・おうちカフェ店選定とオーナーへの特製スイーツ製作とイベント協力依頼 ・綿密なツアーコース設定と名所解説文制作 ・1グループ10名以下に設定し、歩き易くした ・後半、ガイドが急いだため、歩行列が長くなるグループあり	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ×
②来たくなる、と、来てもらう、の相互作用が必要	オリジナルスイーツの提供	参加者がお店の味、雰囲気を知ってリピーターとなる	・美味しい特製スイーツが食べられる ・三鷹の魅力を発見できる ・参加者、運営者の中で、お店のリピーターとなっている方あり ・魅力的なチラシを三鷹各所に設置 ・SNSでの勧誘(みたしるSNSの活用は不十分) ・映画ロケ地巡り時の映画参加者全員にチラシを配布	◎ ◎ ◎ ◎ △ ○
③三鷹の印象をナビゲートしていく新しい言葉、デザインが必要	「ミタカのミリョク」 「おうちカフェ」	・参加店の協力継続化 ・参加者が地域への愛着を深める	・継続的なイベントの実施については要検討 ・普段歩いている景色が違って見えた ・いつもの街がとても新鮮に感じた	× ○ ○
④参加を契機に共感し、担い手となる仲間(マチ友)を作る	歩きながら運営側との会話を通して活動に共感を得る	参加者が今後の当G活動への参加や協力	・運営メンバーのおもてなしの心、フレンドリーな対応 ・ツアー中、ツアー後の語り合いによる心の距離の接近 ・当Gの打ち合わせ、懇親会へお誘いし、2名の参加。もう1名参加見込み	○ ○ ○ △
⑤ワクワク感			・チラシを見て参加を申し込んだとき ・スイーツを受け取る瞬間(どんなスイーツか) ・知らなかった三鷹、お店を知った瞬間	◎ ○ ○ ○

以上の結果から、特出すべき点を以下に示す。

1) 極めて高い参加者満足度と「みたか愛」の醸成

- ・映画ロケ地巡り、おうちカフェ巡りともに、満足度は4.7(5点満点)という極めて高い評価を得た。
- ・「かぎかつこの街灯(1位)」や「三鷹中央通りの銘板(3位)」など、日常の風景を観光資

源として再定義したことで、参加者から「いつもの街が新鮮に見えた」、「いい街だと実感した」という深い愛着を引き出すことに成功した。

2) 地域経済・事業者への具体的貢献

- ・イベント終了後、既に参加者が協力店舗を再訪しており、単発のイベントに留まらない実利的な宣伝効果が確認された。
- ・映画制作者側からも「観客との双方向の交流」に大きな価値が見出され、自主的な継続開催の検討が始まるなど、イベントが事業者にも大きな貢献をもたらしている。

3) 「マチ友（担い手候補）」作りの着実な一歩

- ・単なる「客」としての参加に留まらず、参加者のうち5名が当実行委員会の定例会や懇親会へ合流。イベントを契機とした「まちづくりの担い手候補」の獲得という目標に対し、具体的な数値成果が得られた。
- ・本報告書では触れていないが、今回イベントを実施するにあたり、「令和7年度三鷹市地域にぎわいポイント付与事業」を利用し、当会会合参加でポイント付与を可能にすることで勧誘しやすくなる仕組みを設けたことは、マチ友作りにプラスとなったことを書き留めておく。

これらの結果から考察と今後の指針を示す。

1) イベントコンセプトの有効性

- ・イベントコンセプトを設定して、実証実験を実施し、参加者と事業者双方から好評を得た。よって、イベントコンセプトは適切と考える。

【イベントコンセプト】

- i) 続くのは、メリットと愛着。それを支えるしくみとヒト。
- ii) 来たくなる、と、来てもらう、の相互作用が必要。
- iii) 三鷹の印象をナビゲートしていく新しい言葉、デザインが必要。
- iv) 参加を契機に共感し、担い手となる仲間（マチ友）を作る。
- v) ワクワク感

2) 「テーマ型街歩き」モデルの可能性

- ・「スイーツ」や「映画」という明確なフック（動機）と、地域の歴史・名所解説などを組み合わせることで、三鷹の魅力を届ける手法が有効であり、幅広い層に様々なエリアで実践できる可能性を見出した。

3) 持続可能な運用に向けた課題の明確化

- ・魅力あるイベントを継続的に行うための新しいデザイン（しくみのモデル化など）と、マチ

友作りについては更なる検討が必要と考える。

7. 今後の予定

今後は以下の研究が必要と考える。

- ・継続的にイベントを行う仕組みの研究。
- ・運営の担い手となるマチ友を増やし、関わりが続く仕組みの研究。

これを実行するための具体的な案を以下に示す。

- ・運営と参加者が継続的に交流（イベント、懇親会など）し、マチ友が増えていく。
- ・運営と参加者の間となるグループ（ファンダム）を設置して、関わり続けたい人の受け皿とする。
- ・地域で活動されている団体、企画とのコラボにより、新しいイベントを創生する。
- ・定期的にイベント提案プレゼン大会を行い、新しいイベント構築を行う。

これらを実行する上で、以下のような仕組み、手法を参考にしたい。

- ・スナック部室（継続的なコミュニティの形成）。
- ・AIDMA、AISAS の手法の活用（モデル化）。

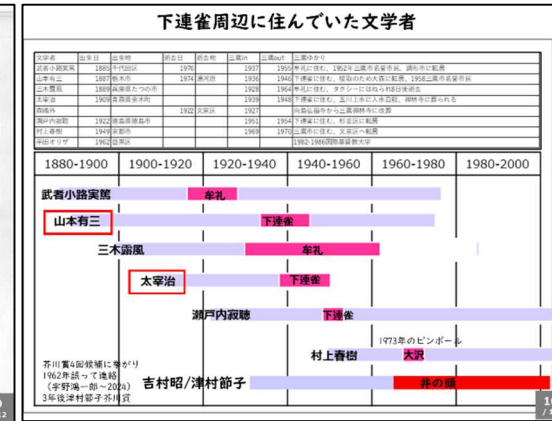
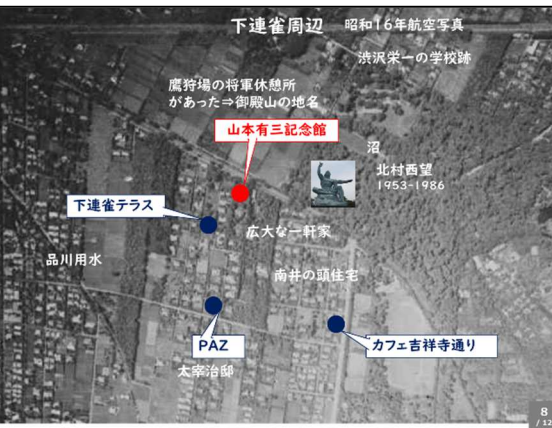
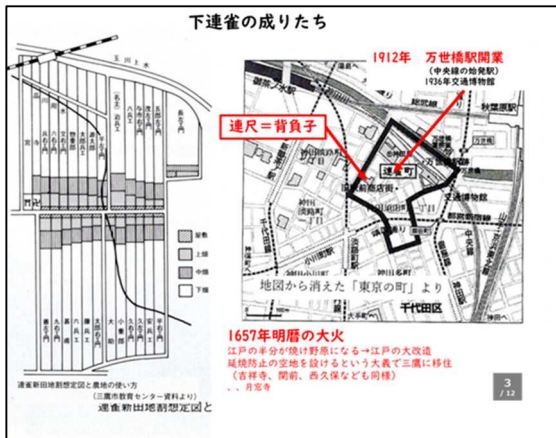
8. 謝辞

本協働研究事業を進めるにあたり、中間報告会で講評、助言を頂いた亜細亜大学の岡村先生、東京農工大学の工藤先生、電気通信大学の水戸先生、東京都立産業技術大学院大学の細田先生、NTT の原様、NPO 法人みたか市民協働ネットワークの四柳様、ロケ地巡りツアーでご協力頂いた三鷹市市民協働センターのまち活フォーラム担当の皆様、研究事業の各種サポートを行って頂いた三鷹ネットワーク大学推進機構の皆様、心から御礼申し上げます。

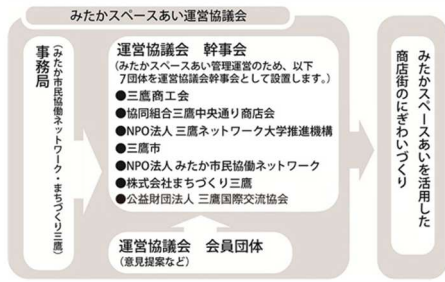
9. 補足資料

「めぐってミタカのミリョク～こんなところにおうちカフェ?!～」のイベントにおいて、当日解説した下連雀の歴史説明資料を示す。





今、私たちがいる「スペースあい」とは？



「空き店舗を活用し多用途に集える場所をつくり活性化に繋げよう」と中央通り商店会会長が発起人となり、再開発でビルを壊すまでという条件付きで運営協議会の中の幹事会が、主体となって運営します。
 イベントや、講演会、ワークショップ、商店街活性化の会議室などとして利用されています。
 先日、市長参加のもと10年目記念の会が催されました

11 / 12



12 / 12